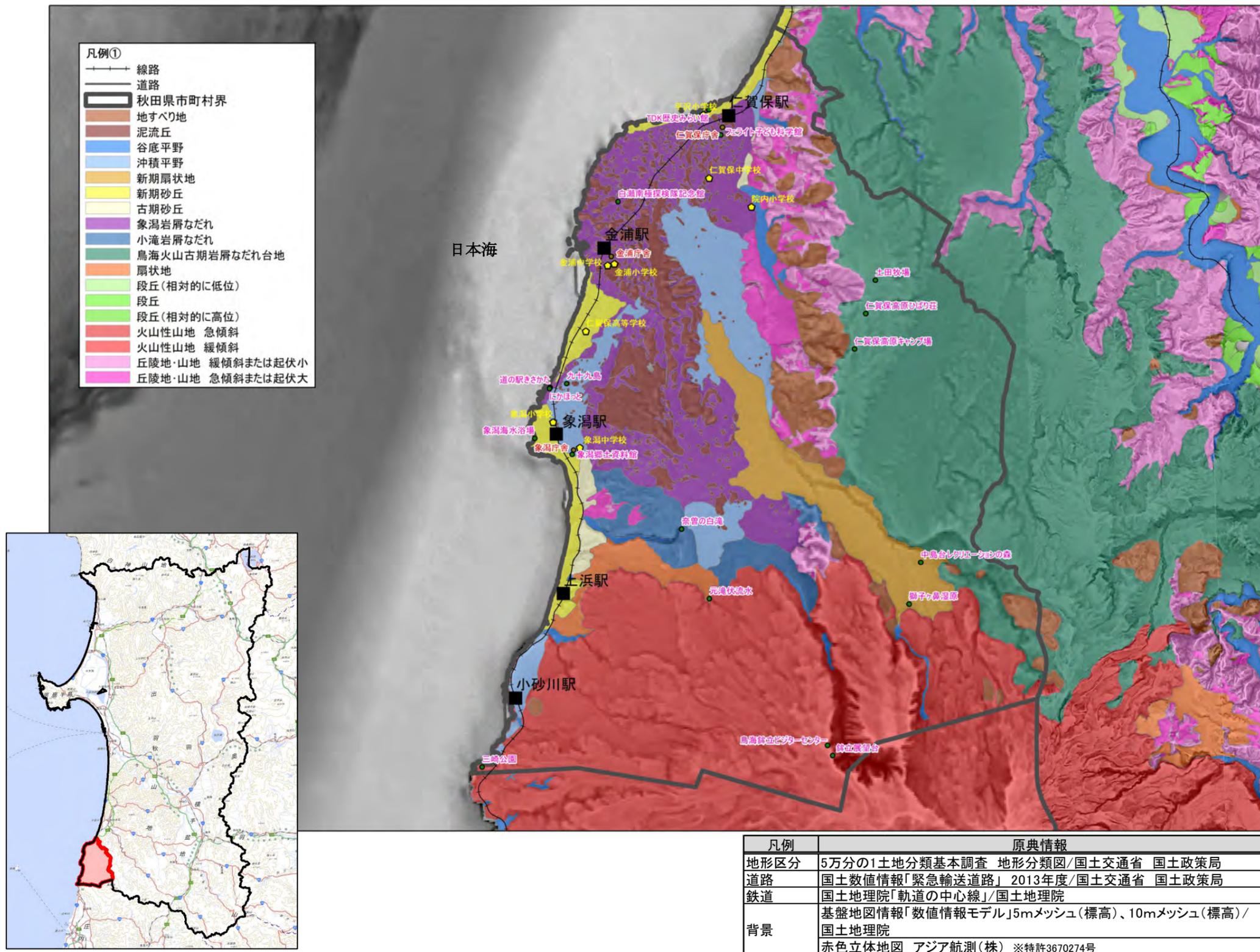


図 A-1 : にかほ市の地形



- ・にかほ市は、秋田県の南西端に位置し、南側は山形県との県境に接し、西側は日本海に面しています。
- ・にかほ市の南側には活火山である鳥海山がそびえ、鳥海山の北西麓がにかほ市の市域に入ります。
- ・鳥海山の北麓には大きな馬蹄形の崩壊跡(東鳥海馬蹄形カルデラ)があり、これは約2500年前(紀元前466年)に起こった象潟岩屑なだれの崩壊源です。
- ・仁賀保駅から象潟駅の東側にかけては、象潟岩屑なだれ堆積物が堆積していて、流れ山(ながれやま)と呼ばれる小山状の地形が多数分布しています。
- ・にかほ市の西側は南北に沖積平野が延び、海岸沿いには砂丘が発達しています。
- ・にかほ市の北東側は標高約500mの丘陵地帯である仁賀保高原が広がっています。仁賀保高原には、牧場やキャンプ場などレジャー施設があるほか、自然の風を生かした風力発電の風車が立ち並んでいます。
- ・鳥海山北麓に降った雨は、鳥海山の溶岩の中に浸透し、北麓の溶岩の下流側で、獅子ヶ鼻湿原、元滝伏流水として姿を現します。
- ・鳥海山西麓では、溶岩に浸透した降水は小砂川海岸や釜磯(遊佐町)などで海岸湧水として湧出しています。また、海底湧水も分布し、岩ガキ等豊富な海産物の生育環境を形成していると言われています。

「測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R2JHs132」

△注意！必読のこと！！ 本資料中の説明は、あくまでも説図の一例であって、確定的な分析ではありません。実際の利活用にあたっては、地元の地形・地質や地下水等に詳しい専門家の助言や監修を受けるようにして下さい。